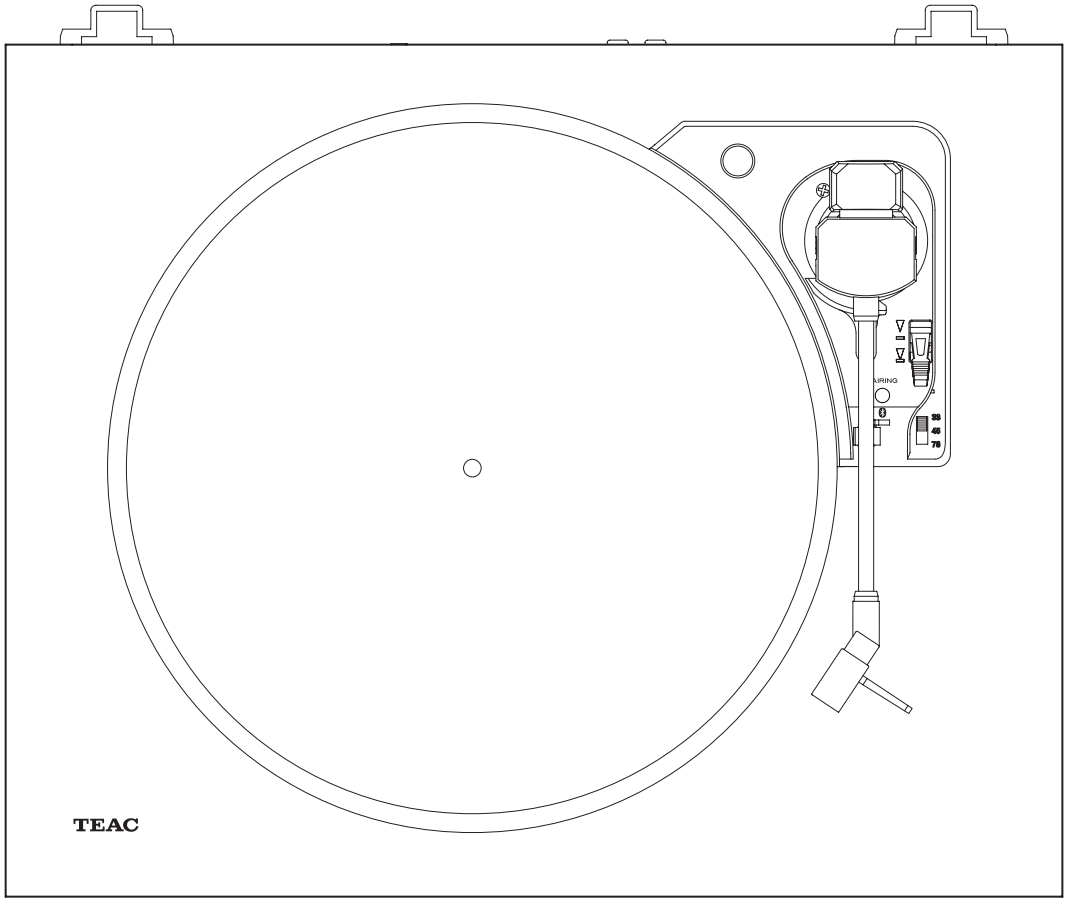
TEAC

TN-180BT

アナログターンテーブル

取扱説明書



ティアック製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用になる前にこの取扱説明書をよくお読みください。
また、お読みになったあとは、いつでも見られるところに大切に保管してください。
末永くご愛用くださいますよう、お願い申し上げます。

目　次

安全にお使いいただくために.....2
電波について.....3
レコードの取り扱い.....3
お使いになる前に.....4
接続.....4
各部の名称.....5
ダストカバー.....5
基本操作.....6
Bluetooth® スピーカーで聞くには.....7
レコード針について.....7
困ったときは.....8
仕様.....8
保証とアフターサービス (よくお読みください).....9

The Bluetooth® word mark and logos are registered trademarks owned by Bluetooth SIG, Inc. and any use of such marks by TEAC CORPORATION is under license.

その他、記載されている会社名、製品名、ロゴマークは各社の商標または登録商標です。

安全にお使いいただくために

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の注意事項をよくお読みください。

⚠ **警告**	**以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。**
電源プラグをコンセントから抜く	**万一、異常が起きたとき** ● **煙が出たり、変なにおいや音がするとき** ● **機器の内部に異物や水などが入ったときは** ● **この機器を落としたり、カバーを破損したときは** すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず AC アダプターの電源プラグをコンセントから抜いてください。異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。 販売店またはティアック修理センター (裏表紙に記載) に修理をご依頼ください。
禁止	**AC アダプターのコードを傷つけない** **AC アダプターのコードの上に重いものをのせたり、コードを壁や棚との間に挟み込んだり、本機の下敷きにしない** **AC アダプターのコードを無理に曲げる、ねじる、引っ張る等の行為や加工、熱器具に近づけて加熱したりしない** コードが傷んだまま使用すると火災・感電の原因となります。 万一、AC アダプターのコードが破損したら (芯線の露出、断線など)、販売店またはティアック修理センター (裏表紙に記載) をご依頼ください。
	付属の AC アダプターを他の機器に使用しない 故障、火災、感電の原因となります。
	交流 100 ～ 240 ボルト以外の電圧で使用しない この機器を使用できるのは日本国内のみです。表示された電源電圧 (交流 100 ～ 240 ボルト) 以外の電圧で使用しないでください。また、船舶などの直流 (DC) 電源には接続しないでください。火災・感電の原因となります。
	この機器を設置する場合は、放熱をよくするために、壁や他の機器との間は 20cm 以上離して置く ラックなどに入れるときは、機器の天面から 35cm 以上、背面から 10cm 以上のすきまをあけてください。すきまをあけないと内部に熱がこもり、火災の原因となります。
	この機器の通風孔などから内部に金属類や燃えやすい物などを差し込んだり、落としたりしない 火災・感電の原因となります。
	この機器の通風孔をふさがない 通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。
指示	**AC アダプターの電源プラグにほこりをためない** AC アダプターの電源プラグとコンセントの間にゴミやほこりが付着すると、火災・感電の原因となります。定期的 (年 1 回くらい) に AC アダプターの電源プラグを抜いて、乾いた布でゴミやほこりを取り除いてください。
禁止	**機器の上に花びんや水などが入った容器を置かない** 内部に水が入ると火災・感電の原因となります。
分解禁止	**この機器のカバーは絶対に外さない** カバーを開けたり改造すると、火災・感電の原因となります。 内部の点検・修理は販売店またはティアック修理センター (裏表紙に記載) にご依頼ください。
	この機器を改造しない 火災・感電の原因となります。

⚠ 注意	以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
電源プラグをコンセントから抜く	**移動させる場合は、電源をスタンバイにし、必ず AC アダプターの電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続ケーブルを外す** コードが傷つき、火災・感電の原因や、引っ掛けてけがの原因になることがあります。
	旅行などで長期間この機器を使用しないときやお手入れの際は、安全のため必ず AC アダプターの電源プラグをコンセントから抜く 通電状態の放置やお手入れは、漏電や感電の原因となることがあります。
指示	**オーディオ機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続する** **また、接続は指定のケーブルを使用する** それ以外の物を使用すると、故障、火災、感電の原因となります。
	電源を入れる前には、音量を最小にする 突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。
	この機器はコンセントの近くに設置し、AC アダプターの電源プラグは簡単に手が届くようにする 異常が起きた場合は、すぐに AC アダプターの電源プラグをコンセントから抜いて、完全に電源が切れるようにしてください。
	この機器には、付属の AC アダプターを使用する それ以外の物を使用すると、故障、火災、感電の原因となります。
禁止	**ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない** **湿気やほこりの多い場所に置かない。風呂、シャワー室では使用しない** **調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所に置かない** 火災・感電やけがの原因となることがあります。
	AC アダプターの電源プラグを抜くときは、AC アダプターの電源コードを引っ張らない コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。 必ずプラグを持って抜いてください。
禁止	**濡れた手で AC アダプターの電源プラグを抜き差ししない** 感電の原因となることがあります。

愛情点検

電源ケーブルや本体に異常がないか、定期的に点検してください。
内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。
特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。
5 年に 1 度は、販売店またはティアック修理センター (裏表紙に記載) に内部の点検をご依頼ください。
費用についてはお問い合わせください。

電波について

- 本機は電波法に基づく小電力データ通信システム無線局設備として技術基準適合証明を受けています。従って、本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。ただし、以下の事項を行うと、法律で罰せられることがあります。
  - ・分解 / 改造すること
  - ・本機に貼ってある証明ラベルをはがすこと

本機は、2.4GHz 帯を使用します。変調方式として FH-SS 変調方式を採用し与干渉距離は 10m です。
本製品は日本国内でのみご使用ください。

- 本機は電波を使用しているため、第三者が故意または偶然に傍受することが考えられます。
  重要な通信や人命にかかわる通信には使用しないでください。
  通信時に、データや情報の漏洩が発生しても責任を負いかねます。予めご了承ください。
- 次の場所では本機を使用しないでください。
  再生音が途切れたり、ノイズが出る場合があります。
  - ・2.4GHz 用周波数帯域を利用する、無線 LAN、電子レンジ、デジタルコードレス電話、Bluetooth などの機器の近く。
    電波が干渉して音が途切れることがあります。
  - ・ラジオ、テレビ、ビデオ機器、BS/CS チューナーなどのアンテナ入力端子を持つ AV 機器の近く。
    音声や映像にノイズがのることがあります。

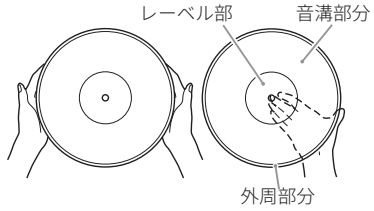
本機使用上の注意

本機の使用周波数は 2.4GHz 帯です。この周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、免許を要する工場の製造ラインで使用されている移動体識別用の構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局や免許を要するアマチュア無線局などが運用されています。
他の機器との干渉を防止するために、以下の点に十分ご注意いただきご使用ください。
- ・本機を使用する前に、近くで他の無線局が運用されていないことを確認してください。
- ・万一、本機と他の無線局との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本機の使用場所を変えるか、使用を停止してください。
- ・不明な点その他にお困りのことが起きたときは、お買い上げの販売店または、弊社 AV お客様相談室 (裏表紙に記載) へお問い合わせください。

レコードの取り扱い

レコードの持ち方

レコードを持つとき、レコードジャケットから取り出すときは、音溝部分に手を触れないようにレーベル部と外周部分を支えて持つか、両手でレコードの外周部分をはさむように持ってください。



お手入れ

- 指紋やほこりがつくと、雑音や音飛びの原因となり、レコードや針を傷めます。市販のレコードクリーナーなどでクリーニングしてください。レコードクリーナー以外のベンジン、シンナーなどで絶対に拭かないでください。これらの化学薬品で表面が侵されることがあります。
- レコードクリーナーを使用する場合は、音溝に沿って円を描くように拭き取ってください。



使用上の注意

- 直射日光が当たる場所や、高温多湿な場所には置かないでください。長時間放置すると、そりやカビが生えるなどの原因となります。
- レコードは、何枚も積み重ねたり、重いものをのせたりしないでください。また、斜めにして長時間放置しないでください。そりや破損の原因となります。
- 音溝部は、硬いものに直接触れないようにしてください。傷の原因となります。
- 再生が終わったレコードは、必ずレコードジャケットに入れて保管してください。そのまま放置すると、そりやキズの原因となります。
- ヒビが入ったレコードは使用しないでください。

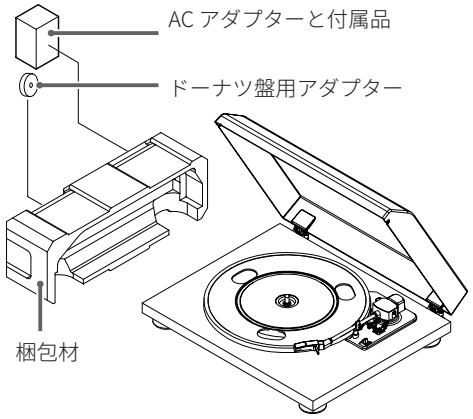
お使いになる前に

付属品の確認

万一、付属品に不足や損傷がありましたら、お買い上げになった販売店、または弊社 AV お客様相談室 (裏表紙に記載) にご連絡ください。

ゴムマット x 1
ドーナツ盤用アダプター x 1
ダストカバー x 1
ヒンジ × 2
RCA オーディオケーブル x 1
AC アダプター (GPE053A-V120050-1) x 1
取扱説明書 (保証書付き)(本書) x 1

- 下図のように、ドーナツ盤用アダプターと、AC アダプターやその他の付属品が入った箱が梱包材の中に入っています。



使用上の注意

- 本機は必ず水平な場所に設置してください。
- ダストカバーの上には物を置かないでください。特に再生中は、振動でノイズが発生したり、物が落下する恐れがあります。
- 直射日光が当たる場所や暖房器具の近くなど、温度が高くなるところに置かないでください。また、アンプなど熱を発生する機器の上には置かないでください。変色や変形、故障の原因となります。

ユーザー登録について

TEAC のウェブサイトにて、オンラインでのユーザー登録をお願いいたします。

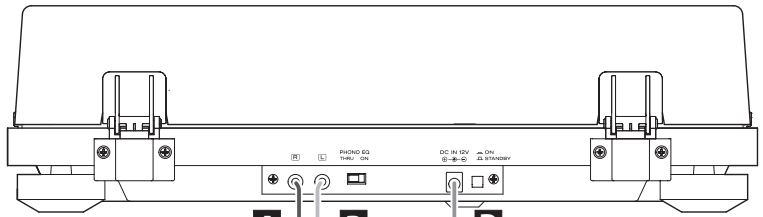
https://teac.jp/jp/signup

音のエチケット

楽しい音楽も、場合によっては大変気になるものです。静かな夜間には小さな音でもよく通り、隣近所に迷惑をかけてしまうことがあります。
適当な音量を心がけ、窓を閉めたりヘッドホンを使用するなどして、お互いに快適な生活環境を守りましょう。
このマークは音のエチケットのシンボルマークです。

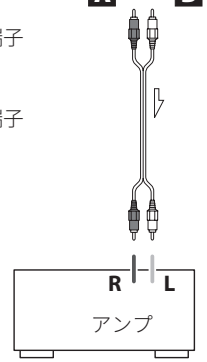


接続



PHONO EQ : ON のとき
アンプなどのライン入力端子に接続
PHONO EQ : THRU のとき
アンプなどのフォノ入力端子に接続

付属の AC アダプター



⚠ 接続時の注意

- 全ての接続が終わってから電源プラグを差し込んでください。
- 接続する機器の取扱説明書をよく読み、説明に従って接続してください。

A アナログ音声出力端子 (L/R)

アナログの音声が出力されます。
PHONO EQ スイッチの設定で出力信号が切り換わります。
付属または市販のオーディオケーブルを使って、各機器と本機の出力端子を接続してください。

RCA オーディオケーブル



B 音声出力設定スイッチ (PHONO EQ)

ON
内蔵されたフォノイコライザーアンプで増幅された信号がアナログ音声出力端子 (L/R) から出力されます。

THRU
レコード針からの信号を直接アナログ音声出力端子 (L/R) から出力します。
PHONO 入力のある機器に接続してお使いください。

- 出荷時は「ON」に設定されています。

注意

「ON」の状態で、アンプなどの PHONO 入力に接続すると、スピーカーやヘッドホンから大音量が出力され、機器が破損したり聴覚障害の原因となります。

C DC 入力端子

他の全ての接続が終わったら、付属の AC アダプター (GPE053A-V120050-1) をこの端子に接続してください。
次に、AC アダプターのプラグを交流 100 ～ 240V の電源コンセントに差し込んでください。

- 付属の AC アダプター (GPE053A-V120050-1) 以外は使わないでください。

⚠ 交流 100 ～ 240 ボルト以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因になります。

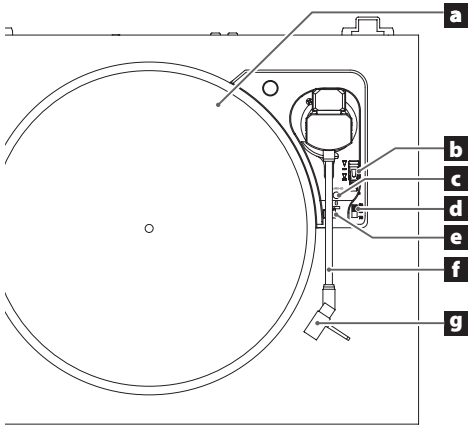
⚠ 電源の抜き差しは、必ずプラグを持って行ってください。

⚠ 長期間使用しないときは、コンセントから電源プラグを抜いておいてください。

D 電源ボタン (STANDBY/ON)

電源スタンバイと電源オンを切り換えます。

各部の名称



a ターンテーブル

レコード盤をターンテーブルの中心にはめてください。

b アームリフターレバー

レコード針の針先を上下に操作します。
指よりも安全かつ確実に操作できますので、レコード盤や針先を傷めないためにもアームリフターのご使用をお勧めします。

c ペアリングボタン / ペアリングランプ

d 回転数切換つまみ

再生するレコード盤に指定されている回転数を選んでください。

e トーンアームホルダー

トーンアームの支持台です。

f トーンアーム

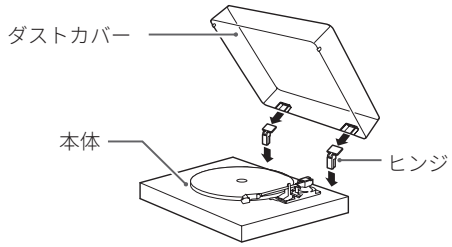
g ヘッドシェル

注意

ご使用の前には、必ず保護カバー（白色）を外してください。この保護カバーは、輸送時に針先を守るためのものですので、保管しておいてください。

ダストカバー

ダストカバーの取り付け



1 本体背面の左右両端にあるヒンジ差し込み部にヒンジを合わせて、奥まではめ込みます。

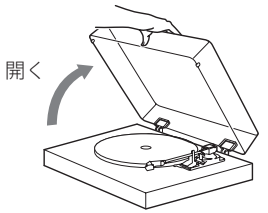
2 ヒンジの上部にダストカバーのヒンジ差し込み部を合わせ、はめ込みます。

- 再生中はダストカバーを閉めてください。不用意な接触による針飛びや、外来音圧から針先を守ります。
- レコードの再生中に開閉しないでください。針飛びなどの原因となります。
- ホコリがかぶらないように、通常は閉めてください。

ダストカバーの外し方

ダストカバーの両端を持ち、ゆっくり上へ引き、ヒンジごと本体から外します。さらにダストカバーからヒンジを外します。

ダストカバーの開閉



開くとき

ダストカバーの前端を持って、カバーが止まるまで軽く持ち上げて開きます。
ダストカバーは開いたままの状態になります。

閉めるとき

ダストカバーをゆっくりと下ろします。

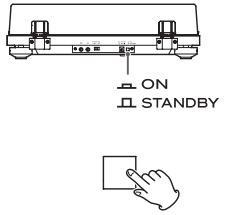
⚠ ダストカバーを開閉するときは、指などを挟まないようにご注意ください。

レコードを再生する

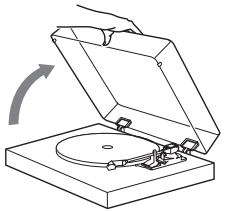
注意

- ゴムマットを載せてください。マットなしの場合、正常に再生出来ません。
- 再生中は、本機に振動を与えないでください。音飛びが発生したり、レコード盤やレコード針を傷める原因になります。

1 リアパネルの電源ボタン (STANDBY/ON) を押して、電源をオンにします。



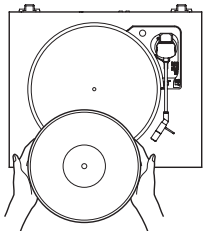
2 ゆっくりとダストカバーを開ける。



⚠ **ダストカバーを開閉するときは、指などを挟まないようにご注意ください。**

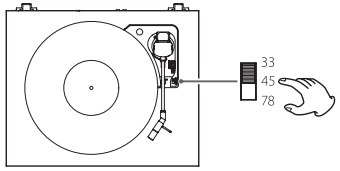
3 ターンテーブルにレコードをのせる。

ドーナツ (EP) 盤を再生する場合には、付属の EP アダプターをご使用ください。

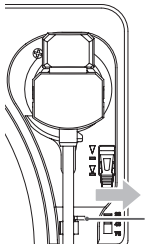


4 レコード盤に指定されている回転数を選んでください。

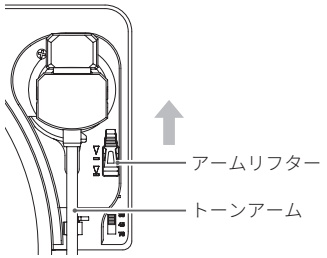
回転数は、33 1/3、45、78 回転の 3 種類あります。



5 トーンアームの留め具を右にずらして外す。

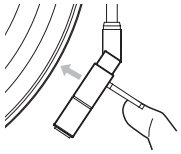


6 アームリフターを上げる。



- アームリフターのレバーを手前にしたまま、トーンアームを浮かせた状態でレコードの上に移動してから、トーンアームをゆっくりと下げて再生を始めることもできます。

7 再生したいところまでトーンアームを移動する。



注意

- ご使用の前には、必ず保護カバー（白色）を外してください。この保護カバーは、輸送時に針先を守るためのものですので、保管しておいてください。
- レコード盤の最外周が最初の曲になります。最初の曲から聴きたい場合は、最外周に針を落としてください。

8 アームリフターをさげる。

トーンアームがゆっくり下がり、針先がレコード盤におりて再生がはじまります。

- 再生中はダストカバーを閉めてください。不用意な接触による針飛びや、外部からの音圧を遮断するため、ノイズが起きにくくなります。

⚠ ダストカバーの上には物を置かないでください。

注意

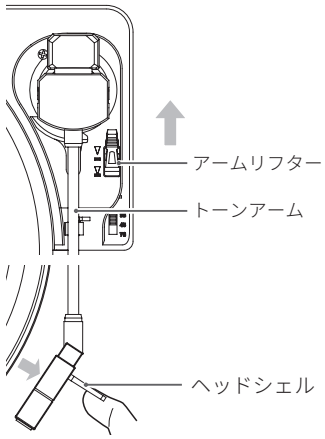
- 再生中はトーンアームやレコード盤に触れないでください。針先の破損やレコード盤の損傷の原因となります。
- 再生中は無理にターンテーブルの回転を止めないでください。本製品は DJ タイプのターンテーブル（ダイレクトドライブ方式）ではありませんので、このような動作をすると故障の原因となります。

レコードの再生時に音を大きくしすぎると、ハウリングが起こることがあります。その場合は、アンプの音量を下げてください。

再生が終わったら

再生が終わると、トーンアームが自動的に元の位置に戻ってターンテーブルの回転が止まります (オートリターン機能)。

手動で再生を中断したいときは、アームリフターを使ってトーンアームを持ち上げてから、トーンアームを元の位置に戻してください。

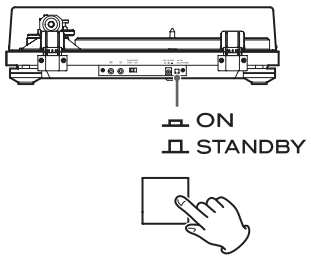


- レコード盤によっては、オートリターン機能が働かないことがあります。その場合は、手動でトーンアームを元の位置に戻してください。

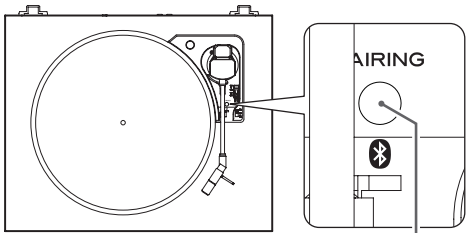
Bluetooth® スピーカーで聞くには

本機は Bluetooth 送信機を搭載しており、Bluetooth スピーカーにワイヤレスで音声を送ることができます。

1 リアパネルの電源ボタン (STANDBY/ON) を押して電源をオンにする。



2 Bluetooth スピーカーとのペアリングおよび接続を行う。



ペアリングボタン /
ペアリングランプ

Bluetooth スピーカーとのペアリング

本機を初めて使用する場合または新しい Bluetooth 機器を本機に接続する場合は、本機と Bluetooth 機器をペアリングする必要があります。

本機のペアリングボタン (PAIRING) を押すと接続モードになり、ペアリングランプがゆっくり点滅します。もう一度ペアリングボタン (PAIRING) を 2 秒以上押すとペアリングモードになりペアリングランプが早く点滅します。

本機をペアリングモードにしてから Bluetooth スピーカーをペアリングモードにして下さい。

本機と Bluetooth スピーカーが接続されると、ペアリングランプが点灯に変わります。

- Bluetooth スピーカーの操作は機器の取扱説明書を見てください。
- 接続する機器によってはペアリングに時間がかかる場合があります。
- 本機は最も近くにある Bluetooth スピーカーと接続します。5 分間 Bluetooth スピーカーが見つからない場合、本機の Bluetooth 機能はスタンバイモードになりペアリングランプが消灯します。

ペアリング済みの Bluetooth スピーカーとの接続

本機のペアリングボタン (PAIRING) を押すと接続モードになり、ペアリングランプがゆっくり点滅します。

Bluetooth スピーカーを接続できる状態にします。
本機と Bluetooth スピーカーが接続されると、ペアリングランプが点灯に変わります。

- Bluetooth スピーカーに接続する際には、その他の Bluetooth 受信機 / スピーカーを本機の範囲外 (10m 以上) に移動するか、電源をオフにしてください。

3 レコードを再生する。

- レコードを再生している状態で Bluetooth の接続を行うことも可能です。
- 必要に応じて Bluetooth スピーカーの音量を調整してください。
- 本機側では音量を調整することはできません。
- 接続を解除するには、本機のペアリングボタン (PAIRING) を 6 秒以上押して Bluetooth をスタンバイモードにするか電源をオフにして下さい。
- ペアリングボタンを 10 秒以上押すとペアリングランプが点滅しペアリング済みの機器がすべて削除されます。

本機を使用しないときは

本機の PAIRING ボタンを 3 秒以上押して Bluetooth 接続を切断し、ペアリングランプが消灯していることを確認してください。

レコード針について

- レコード針が曲がる（破損する）と、音溝を正確にトレースできなくなります。レコード盤を傷めたり、故障の原因にもなりますので、レコード針は丁寧に取扱ってください。
- レコード針のお手入れは、市販のレコード針専用クリーナーを必ずお使いください。レコード針専用クリーナー以外を使った場合、レコード針が破損する恐れがあります。

レコード針の交換

レコード針の針先が摩耗すると、音質が劣化するだけではなくレコード盤を傷める原因となります。再生時間 400 時間を目安に当社指定の交換針にお取替えください。

注意

- 突然大きな音が出ることがありますので、機器の電源を切ってから交換してください。
- 手や機器を傷付けないよう、ご注意ください。
- 小さなお子様があやまってレコード針を飲み込まないよう、ご注意ください。
- お客様の不注意や外部要因による針折れなどは、保証の対象外となりますのでご注意ください。

交換針 (別売) :
オーディオテクニカ製交換針
ATN3600L：付属モデル
ATN3600LC / ATN3600LE：互換モデル

困ったときは

本機の調子がおかしいときは、修理を依頼される前に以下の内容をもう一度チェックしてください。また、本機以外の原因も考えられますので、接続した機器の使用方法も併せてご確認ください。
それでも正常に動作しない場合は、お買い上げの販売店またはティアック修理センター (裏表紙に記載) にご連絡ください。

電源が入らない

➡ AC アダプターをコンセントに差し込んでください。電源ボタンを押して電源をオンにしてください。(6 ページ)

音がしない

➡ 本機のアナログ音声出力端子をアンプなどの音声入力端子に接続している場合、音声出力設定スイッチ (PHONO EQ) の設定を「ON」にして下さい。(4 ページ)

再生できない、雑音が入る

➡ 針のカバー (白いプラスチックの部分) を外してください。
➡ 指紋やほこりがつくと、雑音や音飛びの原因となります。市販のレコードクリーナーなどでクリーニングしてください。(3 ページ)
➡ レコード針をクリーニングしてください。(7 ページ)
➡ レコード針が摩耗していたら、交換してください。(7 ページ)
➡ テレビや電子レンジなど、電磁波を出すものからはできるだけ離して設置してください。

音程がおかしい

➡ レコード盤に指定されている回転数を選んでください。(6 ページ)

音飛びする

➡ 震動を与えると音飛びします。本機は安定した場所に設置してください。
➡ レコード盤の汚れをクリーニングしてください。
➡ 傷が付いたレコードは使わないでください。

接続したい Bluetooth スピーカーに接続できない

➡ 本機と Bluetooth 機器の電源を一度オフにして、再び電源をオンにしてペアリング動作を試してください。
➡ 10m 以内の Bluetooth スピーカーの電源をオフにしてください。最も近い Bluetooth スピーカーとペアリングされます。

Bluetooth スピーカーとの接続には成功しているが、再生音が聴こえない

➡ Bluetooth スピーカーの音量を確認してください。
➡ 本機のペアリングボタン (PAIRING) を 6 秒以上押して、一度 Bluetooth スピーカーとの接続を解除してください。その後、ペアリング接続をもう一度行ってください。
➡ 本機の電源を入れなおし、ペアリングボタン (PAIRING) を押してペアリングをやり直してください。

スマートフォンと接続できない

➡ 本機は Bluetooth 送信機として機能し、音声を他の Bluetooth スピーカーへ送ることができます。
Bluetooth 受信機としては機能しないため、スマートフォンと接続はできません。

レコードの最後まで再生しない。

➡ オートリターンの初期化をしてください。手でトーンアームをレコードの内側に動かしてください。トーンアームが自動的に戻ってターンテーブルが止まったら初期化完了です。

仕様

ターンテーブル部

駆動方式 ..... ベルトドライブ
モータ ..... DC モータ
回転数 ..... 33 1/3 rpm, 45 rpm, 78 rpm
回転数偏差 ..... ± 2%
ワウ・フラッター..... 0.25%
SN 比 .... 64 dB (A-weighted、20 kHz LPF) 以上
ターンテーブル..... プラスチック
直径 29 cm

トーンアーム

アーム形式
スタティックバランスストレートパイプ型トーンアーム
実効アーム長..... 200 mm

カートリッジ

形式 ..... VM 型（MM 型と同等）
出力電圧 ..... 3.5 mV(1 kHz,5 cm/s)
針圧 ..... 3.5 ± 0.5 g

- 本機に装着されているカートリッジは、オーディオテクニカ製「AT3600L」（VM 型）です。
※ VM 型は MM 型と同じ特性です。
- レコード交換針型番：
オーディオテクニカ製
ATN3600L：付属モデル
ATN3600LC / ATN3600LE：互換モデル

出力電圧

PHONO EQ THRU ..... 3.5 mV (1 kHz, 5 cm/s)
PHONO EQ ON ..... 149 mV (− 16.5dBV)
出力端子 ..... RCA ジャック

Bluetooth 機能

Bluetooth バージョン..... 5.2 (DUAL MODE)
出力クラス ..... Class 2
対応プロファイル..... A2DP
コーデック ..... SBC

一般

AC アダプター電源
入力 ..... AC 100 V 〜 AC 240 V 50-60 Hz
出力 ..... 12 V 500 mA
消費電力
スタンバイ ..... 0.5 W 以下
オン (START) ..... 1.5 W 以下
質量 ..... 約 4.8 kg
動作保証温度..... 5°C〜 35°C
外形寸法 (幅、高さ、奥行) (突起部を含む)
ダストカバーを閉めた場合
420 x 105 x 356 mm
ダストカバーを開けた場合
420 x 356 x 386 mm
ダストカバーを取り外した場合
420 x 92 x 356 mm

- 性能データは、20°Cで規定しています。

付属品

ゴムマット x 1
ドーナツ盤用アダプター x 1
ターンテーブル x 1
ダストカバー x 1
ヒンジ × 2
RCA オーディオケーブル x1
AC アダプター (GPE053A-V120050-1) x 1
取扱説明書 (保証書付き)(本書) x 1

- 仕様及び外観は改善のため予告なく変更することがあります。
- 取扱説明書のイラストが一部製品と異なる場合があります。

保証とアフターサービス (よくお読みください)

■保証書
取扱説明書の裏表紙が保証書になっています。保証書は大切に保管してください。もしも販売店印の捺印やご購入日の記載が無い場合は、ご購入時のレシートなどご購入店・ご購入日が確認できるものを一緒に保管してください。保証期間はお買い上げ日より 1 年です。

■補修用性能部品の保有期間
当社は、この製品の補修用性能部品 (製品の機能を維持するために必要な部品) を製造打ち切り後 8 年間保有しています。

■ご不明な点や修理に関するご相談は
修理に関するご相談、並びにご不明な点は、弊社サービス部門 (裏表紙に記載) にお問い合わせください。

■修理を依頼されるときは
8 ページの「困ったときは」に従って調べていただき、なお異常のあるときは使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、ティアック修理センター (裏表紙に記載) にご連絡ください。
なお、本体の故障もしくは不具合により発生した付随的損害 (録音内容などの補償) の責についてはご容赦ください。

保証期間中は
修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って、修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは
修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料にて修理させていただきます。

修理料金の仕組み
技術料：故障した製品を正常に修復するための料金です。
測定機等の設備費、技術者の人件費、技術教育費が含まれています。
部品代：修理に使用した部品代金です。
その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
その他：製品を送るために必要な送料 / 梱包料などがあります。

修理の際ご連絡いただきたい内容
型名：アナログターンテーブル
TN-180BT
シリアルナンバー：
お買い上げ日：
販売店名：
お客様のご連絡先
故障の状況 (できるだけ詳しく)

■廃棄するときは
本機を廃棄する場合に必要になる収集費などの費用は、お客様のご負担になります。

分解・改造禁止
この機器は絶対に分解・改造しないでください。この機器に対して、当社指定のサービス機関以外による修理や改造が行われた場合は、保証期間内であっても保証対象外となります。

当社指定のサービス機関以外による修理や改造によってこの機器が故障または損傷したり、人的・物的損害が生じても、当社は一切の責任を負いません。

保証書

品名および形名	アナログターンテーブル TN-180BT
機番	
保証期間	本体　1年

お買上げ日	年　月　日	
お客様	お名前	様
	ご住所	〒 電話　（　）

この保証書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。お買上げの日から左記期間中に故障が発生した場合は、本書をご提示の上、取扱説明書に記載のティアック修理センターまたはお買上げの販売店に修理をご依頼ください。

お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

販売店	所在地・名称 (印) 電話　（　）

無料修理規定

1. 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で保証期間内に故障が発生した場合には、ティアック修理センターが無料修理いたします。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、本書をご提示の上、ティアック修理センターまたはお買い上げの販売店に修理をご依頼ください。商品を送付していただく場合の送付方法については、事前にティアック修理センターにお問い合わせください。
3. ご転居、ご贈答品等でお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合は、ティアック修理センターにご連絡ください。
4. 次の場合には保証期間内でも有料修理となります。
   (1) ご使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
   (2) お買上げ後の輸送・移動・落下などによる故障および損傷
   (3) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障および損傷
   (4) 接続している他の機器に起因する故障および損傷
   (5) 業務用の長時間使用など、特に苛酷な条件下において使用された場合の故障および損傷
   (6) メンテナンス
   (7) 本書の提示がない場合
   (8) 本書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名 (印) の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。
   This warranty is valid only in Japan.
6. 本書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

※ この保証書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。この保証書によって保証書を発行しているもの (保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、ティアック修理センターにお問い合わせください。

※ 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間についての詳細は、取扱説明書をご覧ください。

ティアック株式会社　〒206-8530 東京都多摩市落合 1-47　https://teac.jp/jp/

この製品のお取り扱い等についてのお問い合わせ

AV お客様相談室
〒 206-8530 東京都多摩市落合 1-47

042-356-9235 携帯電話、IP 電話をご利用の場合

0570-000-701 ナビダイヤル 固定電話をご利用の場合

FAX：042-356-9242

受付時間は、10:00 ～ 12:00/13:00 ～ 17:00 です。
（土・日・祝日・弊社指定休日を除く）

故障・修理や保守についてのお問い合わせ

ティアック修理センター
〒 358-0026 埼玉県入間市小谷田 858

04-2901-1033 携帯電話、IP 電話をご利用の場合

0570-000-501 ナビダイヤル 固定電話をご利用の場合

FAX：04-2901-1036

受付時間は、9:30 ～ 12:00/13:00 ～ 17:00 です。
（土・日・祝日・弊社指定休日を除く）

● 住所や電話番号は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

0426.MA-3360D